

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 水戸市立山根小学校

担当教諭名 井坂 功一

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成22年11月9日(火) 11:25 ~ 13:35
対象学年と人数	全学年16名
派遣講師名と出身国	・林 暁嵐(中華人民共和国)
活動の内容	・講師自己紹介 ・交流活動① 中華人民共和国について(概要,食べ物,小学校の様子等) 質問タイム ・ふれあい給食 ・交流活動② 中国語 歌
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	Q4. 事業に参加しての意見・感想 楽しい時間を過ごすことができた。コーディネーターの巧みな進行により、会がスムーズに進むことができた。学校の様子や食文化については子どもたちも興味津々で、中国を身近に感じることができた。今後もこの事業に参加していきたい。
生徒・保護者等参加者の感想	「中国人や日本人、そして個人では感じる幸せが違う。自分なりの幸せを見つけることが大切」という林さんの言葉が印象に残りました。(児童) 中国にまだ行ったことはないのですが、ワールドキャラバンのおかげで中国に行ったような気がしました。(児童) 中国は人口も多いので、学校も大きく、授業は7時間もあり、宿題も毎日たくさんあって大変だということがわかりました。(児童) 初めて中国語で自分の名前を覚えてもらい、うれしくなりました。(児童)
先生の感想	映像で分かりやすく説明してくださったので、子どもたちも国の様子がよくわかったようです。 初めての試みだったが、外国の方と接する機会が少ない子どもたちなので、有意義でした。 特に中国の学校の話は、興味をもって聞くことができました。

中国のお金や食文化など、子どもたちが興味をもつものを紹介してくださったので、集中して耳を傾けていました。

中国語で名前を覚えていただいたり、「きらきら星」を中国語で歌ったり、楽しい時間を過ごすことができました。

